

市有建築物省エネ導入項目 設計時チェックシート

工事名		工事								
配慮項目		省エネ標準項目	チェック欄				区分			
			該当の有無	導入状況	庁舎A □	庁舎B □		学校 □	住宅 □	
建物の熱負荷抑制	外皮性能	屋根の断熱	□	□	○	○	○	○		
		外壁の断熱(エアフローウインドウ、ダブルスキン含)	□	□	○	○	○	○		
		床の断熱	□	□	○	○	○	○		
		屋上緑化	□	□	○	○	○	△		
		外壁緑化	□	□	△	△	△	△		
		複層ガラス(Low-E含む)	□	□	○	○	○	△		
		高气密・高断熱な建具 ※1	□	□	○	○	○	△		
		日射遮蔽(庇、縦ルーバー等)	□	□	○	○	○	○		
自然エネルギーの利用	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電	□	□	○	○	○	○		
		屋光連動制御	□	□	○	○	○	-		
		ナイトパージ	□	□	○	-	-	-		
	自然エネルギーの直接利用	外気冷房	□	□	○	-	-	-		
		太陽熱利用設備	□	□	○	△	△	-		
		クールヒートトレンチ、地中熱利用システム	□	□	△	-	△	-		
「地球温暖化対策」の推進	設備システムの高効率化	トップランナー変圧器	□	□	○	○	○	-		
		人感センサー	□	□	○	○	○	△		
		タイムスケジュール制御	□	□	○	○	○	△		
		スイッチ回路の細分化	□	□	○	○	○	△		
		LED照明	□	□	○	○	○	○		
		高輝度誘導灯	□	□	○	○	○	○		
		再生電力の利用(エレベーター)	□	□	○	△	△	△		
		再生電力蓄電システム(エレベーター)	□	□	△	-	-	-		
		エスカレーター人感制御	□	□	○	○	○	-		
		コージェネレーション	□	□	△	-	-	-		
		熱源機器台数制御	□	□	○	-	-	-		
		高効率機器(熱源、空調機、冷却塔、ポンプ)	□	□	○	-	-	-		
		エアコン(APF又はAPFp最高値) ※2	□	□	○	○	○	-		
		エアコンのセンサー機能(人感、温度等)	□	□	○	○	○	-		
		潜熱回収型給湯器	□	□	○	○	○	△		
		ヒートポンプ給湯機	□	□	○	△	△	-		
		全熱交換器	□	□	○	○	○	△		
		空調機可変風量制御	□	□	○	-	-	-		
		空調用ポンプインバーター制御・台数制御	□	□	○	-	-	-		
		大温度差空調(冷温水)	□	□	○	-	-	-		
		換気量制御(CO2)	□	□	○	○	○※3	-		
		高効率電動機ファン	□	□	○	-	-	-		
		蓄熱	□	□	○	-	-	-		
		設備システムの効率的運用	モニタリング	デマンド監視装置	□	□	○	○	○	-
				自動制御・中央監視設備	□	□	○	-	-	-
				BEMS	□	□	△	-	-	-
資源・マテリアル対策	節水	節水器具	□	□	○	○	○	○		
		トイレ用擬音装置	□	□	○	○	○	-		
	雨水利用システム導入	□	□	○	△	△	-			
	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	□	□	○	○	○	○		
非構造材料におけるリサイクル材の使用		□	□	○	○	○	○			
「ヒートアイランド対策」の推進	敷地内温熱環境の向上	敷地内緑化	□	□	○	○	○	○		
		高反射率塗料	□	□	△	△	△	△		
BEI(床面積の合計が300m2以上の新築・増改築に限る)			≦ 0.8 ※4		≦ 1.0(市営住宅)					

凡例 ○:原則として適用(設計時に当該項目の適用を前提とした検討を行う。)

△:適用を検討(設計時の項目比較検討は必ず当該項目を加えて行う。)

-:原則として適用外(通常は適用外となるが、施設の特別な事情等により適用することを否定するものではない。)

注記 ※1:気密性等級A-4(樹脂製建具)又は断熱性等級H-1以上(アルミニウム製建具、鋼製建具、ステンレス製建具)

※2:各メーカーにおいてAPF(JIS B 8616:2015)又はAPFp(JIS B 8616:2015)が最高値のラインナップとする。

※3:教室は対象外とする。

※4:床面積2000㎡以上の工場等の用途の建築物については、0.75以下とする。

庁舎A:中央式空調設備を採用する大規模庁舎、庁舎B:個別式空調設備(パッケージ型エアコン等)を採用する小規模庁舎